



銘柄コード 7564

2015年3月期 第2四半期決算説明会



株式会社 ワークマン

2014年11月5日 開催

- ・第2四半期決算の概要P3~P10
- ・2015年3月期決算の見通しP11~P13
- ・取組み状況P14~P19
- ・第2四半期決算の詳細P20~P24

第2四半期決算の概要

2015年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の概要1

第2四半期累計期間 4月～9月

<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期			
	第2四半期累計期間		第2四半期累計期間			
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	31,182	+4.3	32,232	+3.4	33,707	△4.4
(既存店売上高)	—	+2.0	—	+1.8	+6.3	△4.5
営業総収入	21,888	+3.0	23,042	+5.3	23,930	△3.7
販売費及び一般管理費	4,000	+2.8	4,202	+5.1	4,221	△0.4
営業利益	3,345	+4.4	3,471	+3.8	3,744	△7.3
経常利益	3,838	+3.6	4,013	+4.5	4,286	△6.4
特別損失	4	△85.7	19	+316.1	39	△51.1
四半期純利益	2,143	+3.7	2,352	+9.8	2,420	△2.8
1株当たり四半期純利益	105円06銭		115円31銭		118円62銭	

※2015年3月期第2四半期累計期間の予想値は、2014年4月30日発表の業績予想数値を使用しております。

決算の概要2

第2四半期会計期間 7月～9月



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期	
	第2四半期会計期間		第2四半期会計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	14,334	+3.0	14,866	+3.7
(既存店売上高)	—	+0.8	—	+2.4
営業総収入	10,003	+1.2	10,520	+5.2
販売費及び一般管理費	2,043	+1.8	2,121	+3.8
営業利益	1,352	+6.0	1,388	+2.6
経常利益	1,589	+4.0	1,649	+3.8
特別損失	0	—	7	—
四半期純利益	871	+5.2	958	+10.0
1株当たり四半期純利益	42円71銭		46円99銭	

第2四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 10店舗、閉店 3店舗、スクラップ&ビルド 3店舗(既存店の活性化)
- 2014年9月末 737店舗
(2014年3月末比 +7店舗、2013年9月末比 +16店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2014年9月末 629店舗(2013年9月末比 +19店舗)
- 直営店:業務委託店舗 82店舗、トレーニング・ストア 26店舗 合計 108店舗
- フランチャイズ・ストア比率 85.3%(2013年9月末比 +0.7ポイント)

販売強化

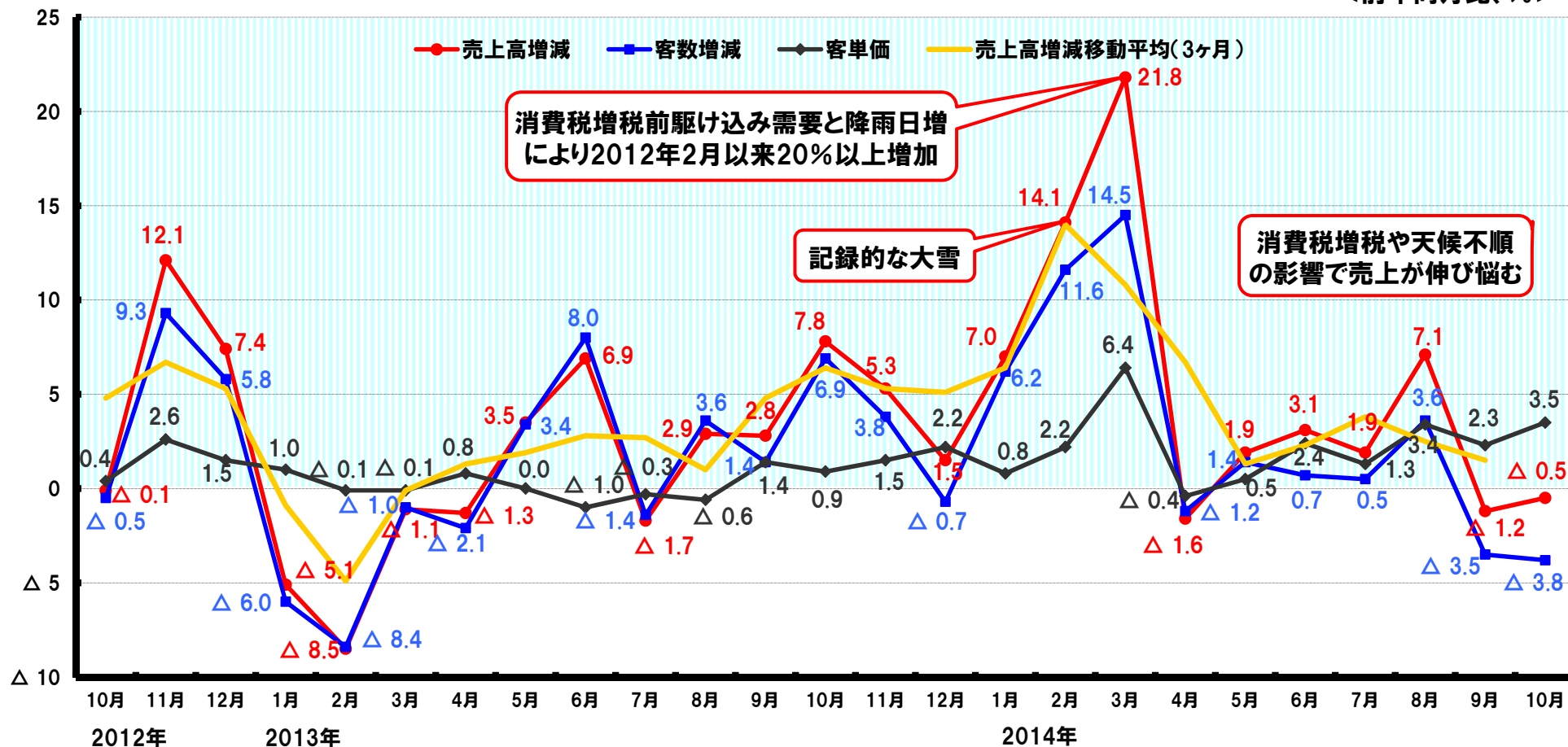
- 「涼やかに、爽やかに、快適に。」をテーマとした売場づくりを推進
重点販売商品 WM COOLシリーズを展開
- プライベート・ブランド(PB)商品 322アイテムを販売
- 履歴発注システム活用の推進
履歴発注稼働率 4月 70% → 9月 77.5%
履歴発注システム導入店の売上は未導入店比 +0.9%

月次推移と要因



■ 既存店売上・客数・客単価月次増減

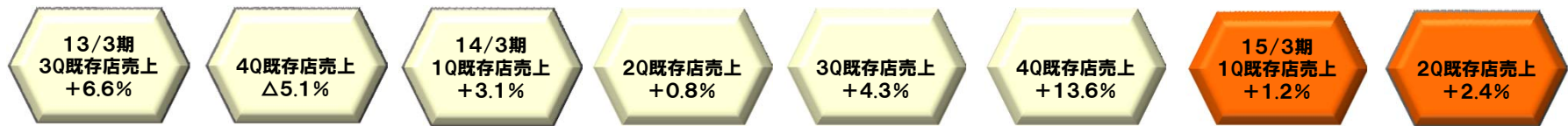
<前年同月比、%>



消費税増税前駆け込み需要と降雨日増により2012年2月以来20%以上増加

記録的な大雪

消費税増税や天候不順の影響で売上が伸び悩む

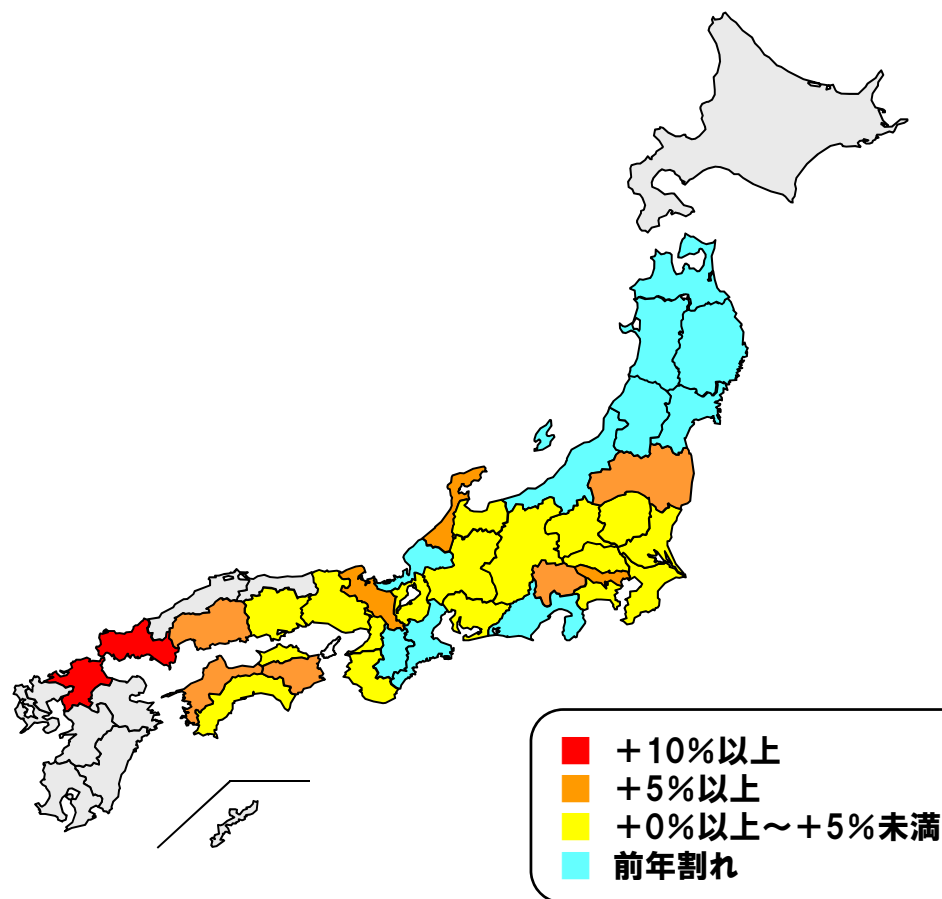


チェーン全店売上高 322億円

	チェーン全店	既存店
売上高	+3.4%	+1.8%
客数	+2.0%	+0.2%
1日当たり平均客数	—	111人 (+0人)
客単価	2,300円	2,304円
	+1.4%	+1.5%
1品単価	843円	844円
	+29円	+29円
1人当たり買上点数	2.7点	2.7点
	△0.1点	△0.1点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しております。

■ 県別既存店前年同期比



商品別売上高と要因

■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2014年3月期 第2四半期累計期間		2015年3月期 第2四半期累計期間		要因
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロン等	2,797	+3.5	2,874	+2.7	衣料品では、暑さ対策で涼しさや吸汗速乾・ 消臭機能を備えた商品の需要が高まる。
カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾン等	3,346	+4.1	3,648	+9.0	カジュアル :コンプレッション(着圧)ウエアが 伸長。半袖ポロシャツも好調で牽引
ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・着衣料等	9,060	+3.4	9,189	+1.4	ワーキング :新PB商品「WM COOLシリー ズ」は好調だが、全体的にはやや伸び悩む。
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足 袋・長靴・厨房シューズ等	6,562	+3.7	6,756	+3.0	7月・8月の台風上陸や局地的な大雨で雨 関連商品の需要が増える。
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメット・マスク等	8,355	+6.4	8,726	+4.4	長靴、低価格作業靴、合羽、ゴム張り作業 手袋が好調
その他 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・不織布作業服等	1,059	+1.8	1,037	△2.1	食品白衣が伸び悩んだ一方で 女性用Tシャツ、ポロシャツは好調
合計	31,182	+4.3	32,232	+3.4	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較

<単位:%>

		2012年3月期 第2四半期 累計期間	2013年3月期 第2四半期 累計期間	2014年3月期 第2四半期 累計期間	2015年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期増減	2013年3月期	2014年3月期
衣 料	■ファミリー衣料	9.1	9.0	9.0	8.9	△0.1	9.9	9.7
	■カジュアルウエア	10.8	10.7	10.7	11.3	+0.6	10.1	9.8
	■ワーキングウエア	28.9	29.3	29.1	28.5	△0.6	29.0	28.4
用 品	■履物	21.2	21.2	21.0	21.0	+0.0	20.7	20.9
	■作業用品	26.4	26.3	26.8	27.1	+0.3	27.3	28.3
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	3.6	3.5	3.4	3.2	△0.2	3.0	2.9
合計		100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	100.0

第2四半期決算の概要

● **2015年3月期決算の見通し**

取組み状況

第2四半期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	68,801	+7.7	72,904	+6.0
(既存店売上高)	—	+5.3	—	+4.2
営業総収入	48,137	+6.8	51,646	+7.3
販売費及び一般管理費	8,136	+4.2	8,540	+5.0
営業利益	8,378	+13.3	9,032	+7.8
経常利益	9,503	+12.7	10,170	+7.0
特別損失	40	△26.4	45	+12.5
当期純利益	5,586	+10.7	6,199	+11.0
1株当たり当期純利益	273円81銭		303円85銭	
1株当たり配当金	83円00銭		83円00銭	

決算の見通しポイント

通期業績予想

業績予想に対する進捗状況

	第2四半期	通期
チェーン全店売上高	95.6%	44.2%
経常利益	93.6%	39.5%
当期純利益	97.2%	37.9%

■ 秋冬防寒新商品の投入で商品力を強化

→ 高付加価値商品の構成比を高め客単価向上を図る

■ 主力となる防寒商品、PB商品の売場づくりの推進

→ 天候や作業シーンに合わせた「**選んで重ねる防寒**」の提案で
買上げ点数アップを図る

■ 履歴発注システム稼働率の向上で売上高アップ

→ 稼働率80%以上に高め発注作業の短縮化、適正在庫の維持の実現

■ 5期連続の増収増益で過去最高益達成を目指す

第2四半期決算の概要

2015年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第2四半期決算の詳細

出店進捗状況

人口の多い南関東、近畿エリアの出店拡大で客数増加を図る

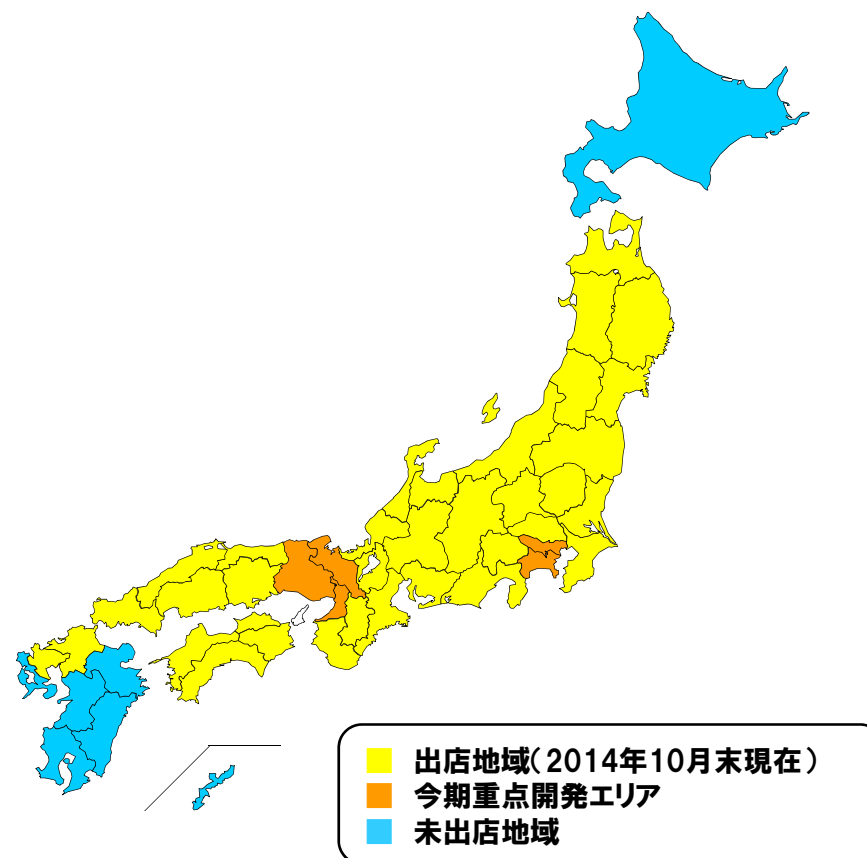
2015年3月期計画

- ・開店 25店舗、閉店 4店舗
- ・期末店舗数 751店舗(前期末比 +21店舗)
- ・スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 5店舗
- ・北海道へ初出店

出店状況

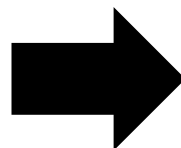
<店舗数>

	4月～10月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期計画
北海道		2	2
東北		1	1
関東	1	2	4
中部	1	1	1
近畿	3	2	6
中国	2	1	4
四国	3		3
九州	2	3	4
合計	12	12	25



店舗改装

■ 新デザイン店舗で幅広い顧客を獲得し、業績拡大を目指す



■ 商品配置見直し→店舗入口付近にPB商品や季節商品を陳列



フランチャイズ(FC)化の推進

個店売上の向上でフランチャイズ化を推進

2015年3月期計画

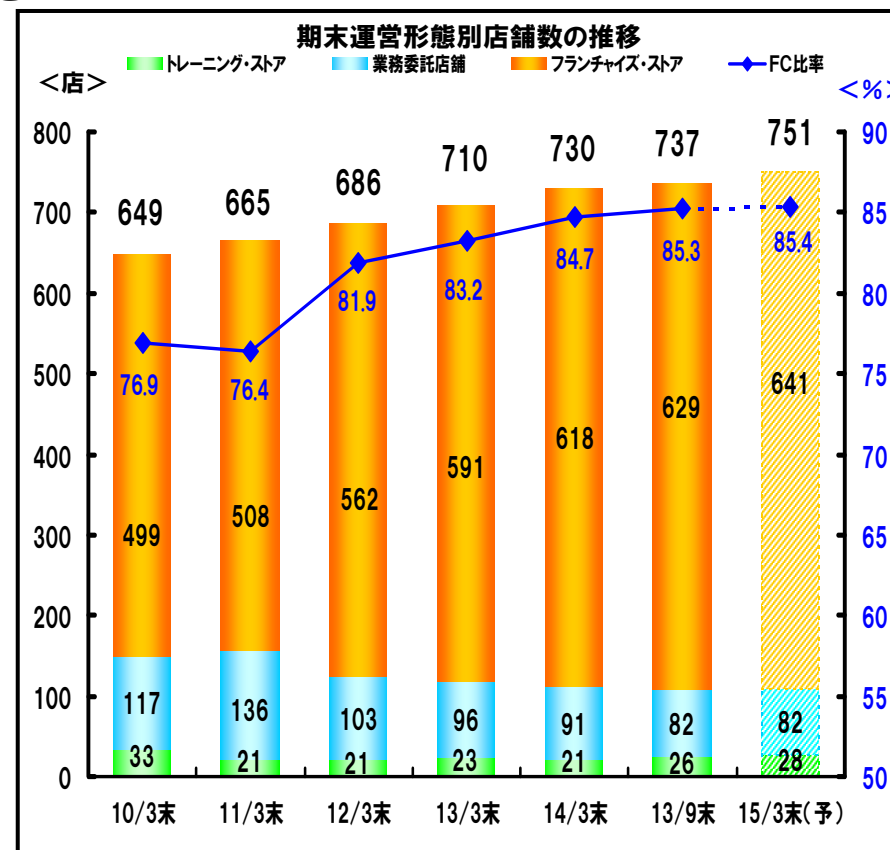
フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 641店舗(前期末比 +23店舗)

→FC化が期初計画より進行しFC比率の向上を見込む

FC化状況

4月～9月の店舗運営形態の推移(開店含む)

	増加	減少	増減合計
フランチャイズ・ストア (内B契約からの変更)	+31 (20)	△20	+11
業務委託店舗 (内A契約からの変更)	+13 (0)	△22	△9
トレーニング・ストア	+28	△23	+5



プライベート・ブランド(PB)商品の開発①

PB商品の開発で他社との差別化を推進

■2015年3月期計画

- ・PB商品売上高90億円 前期比24%増
- ・売上高構成比 12.3%

■PB商品販売状況

- ・PB商品 322アイテムを販売
- ・PB商品の売上高 48億 43百万円(前年同期比 +72.0%)
- ・チェーン全店売上高に占める構成比 15.0%(前年同期比 6ポイント増)

■CM・カタログ・売場づくりを連動させてさらにPB商品の拡販を図る



プライベート・ブランド(PB)商品の開発②

■天候や作業シーンにあわせて選んで重ねる防寒を提案



保温重視
寒さの厳しい屋外で



防水防寒
雨と寒さをシャットアウト



カジュアル
仕事から普段使いまで

買上げ点数アップ・客層の拡大を図る

第2四半期決算の概要

2015年3月期決算の見通し

取組み状況

第2四半期決算の詳細

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2014年 3月期末	2015年3月期 第2四半期末	増減	増減要因
流動資産	36,838	36,160	△678	
現金及び預金	26,040	24,573	△1,466	税引前四半期純利益39億93百万円 減価償却費3億84百万円 加盟店貸勘定の増加△3億81百万円 たな卸資産の増加△5億28百万円 仕入債務の減少△2億77百万円 法人税等支払額△23億35百万円 配当金支払額△16億93百万円 有形無形固定資産の取得△4億94百万円
加盟店貸勘定	4,965	5,347	381	対象店舗が23店舗増加(549店舗→572店舗)
商品	4,597	5,137	539	流通センター在庫が2億93百万円増加、 海外仕入の未着商品が2億6百万円増加、店舗在庫が39百万円増加
その他	547	472	△74	
繰延税金資産	290	204	△85	
固定資産	16,156	16,571	415	
有形固定資産	9,016	9,403	387	
建物(純額)	3,698	3,883	185	出店・閉店状況 出店13店舗(S&B含む)、閉店3店舗 出店形態 建物リース13店舗
土地	2,966	2,966	—	
その他	2,351	2,554	202	
構築物(純額)	817	787	△29	
工具・器具・備品	585	641	56	
リース資産	942	1,116	173	7店舗で2億16百万円計上
無形固定資産	369	352	△16	ソフトウェアの償却
投資その他の資産	6,770	6,815	44	
差入保証金	5,407	5,458	51	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	52,994	52,732	△262	

貸借対照表2

<単位:百万円>

負債/純資産の部	2014年 3月期末	2015年3月期 第2四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	10,082	8,958	△1,123	
買掛金・加盟店買掛金	4,093	3,815	△277	仕入高 14年3月 49億15百万円 14年9月 48億82百万円
未払法人税等	2,446	1,657	△788	
その他	2,150	2,119	△31	
仮受(未払)消費税等	25	206	181	
未払金	1,452	1,175	△276	加盟店分配金 △2億35百万円
未払費用	317	317	0	
固定負債	3,059	3,240	181	
資産除去債務	812	819	7	
その他	1,114	1,287	173	
リース債務	1,047	1,229	181	7店舗で2億33百万円計上
負債合計	13,141	12,199	△942	
株主資本	39,846	40,505	658	
純資産合計	39,852	40,532	679	自己資本比率76.9% 1.7ポイント増加
負債純資産合計	52,994	52,732	△262	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2014年3月期 第2四半期累計期間		2015年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	5,814		5,903		+1.5	
加盟店からの収入	4,131		4,299		+4.1	加盟店期中平均店舗数 前第2四半期 608店舗、当第2四半期 628店舗 20店舗増 加盟店売上高 前第2四半期 281億57百万円、当第2四半期 291億 99百万円 3.7%増 荒利率 前第2四半期35.2%、当第2四半期35.2%
その他の営業収入	1,683		1,603		△4.8	業務受託収入54百万円減少 賃貸料収入15百万円減少
売上高	16,073		17,139		+6.6	
直営店売上高	3,024	(100.0)	3,032	(100.0)	+0.3	直営店期中平均店舗数108店舗(前年同数)
加盟店向け商品供給売上高	13,048		14,107		+8.1	加盟店期中平均店舗数20店舗増
営業総収入	21,888	100.0	23,042	100.0	+5.3	
直営店売上原価	1,493	6.8	1,261	5.5	△15.6	
加盟店向け商品供給売上原価	13,048	59.6	14,107	61.2	+8.1	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	14,542	66.4	15,368	66.7	+5.7	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2014年3月期 第2四半期累計期間		2015年3月期 第2四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(1,531)	(50.6)	(1,771)	(58.4)	+15.7	海外直接買取引の増加による仕入れコストの減少で7.8%改善
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	7,346	33.6	7,674	33.3	+4.5	
販売費及び一般管理費	4,000	18.3	4,202	18.2	+5.1	増減要因 人件費 約32百万円増加 販売費 約95百万円増加 (ステップアップ賞報獎金 約1億3百万円増加) 流通センター運営費用 約91百万円増加 旅費交通費・減価償却費等 約1億12百万円増加 竜王センター・イニシャルコスト 約1億14百万円減少 地代家賃等 約14百万円減少
営業利益	3,345	15.3	3,471	15.1	+3.8	
営業外収益	550	2.5	573	2.5	+4.1	
営業外費用	57	0.3	32	0.1	△43.7	
為替差損	33	0.2	1	0.0	△96.4	
経常利益	3,838	17.5	4,013	17.4	+4.5	
特別損失	4	0.0	19	0.1	+316.1	減損損失 POSレジ入替による廃棄損5百万円 営業不振店5店舗、返却店2店舗、 転貸店2店舗で約14百万円
四半期純利益	2,143	9.8	2,352	10.2	+9.8	復興特別法人税の廃止で約73百万円増加

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>